

2024
(令和6年)

9

No.1187

IIDA CITY
広報

いいだ



特集

菱田春草生誕150年記念特別展

創造の道筋一画卷《四季山水》への歩み一

きじ
雉子(写生)【春草16歳の画】

今回の特別展では、下絵や模写、写生など、生誕150年を機に遺族の方から新たに寄贈を受けた資料も展示します。

創造の道筋

— 画巻^{がかん}《四季山水》への歩み —

菱田春草生誕150年記念特別展



菱田春草《四季山水》 東京国立近代美術館蔵

令和6年(2024)は、飯田出身の日本画家・菱田春草(1874~1911)の生誕から150年の節目の年です。

春草は東京美術学校(現・東京芸術大学)で学びました。校長の岡倉天心(1863~1913)は、春草に「日本美術の古典絵画を尊重しつつ、西洋美術の写実性を取り入れ、新しい日本画を描きなさい」と助言しました。春草は、生涯を通じてこの天心の指針を大切にし、画風の研究を進めて新しい日本画を描きました。

今回の特別展は、「春草が作品を生み出すために何をしたのか」に焦点をあてます。東京国立近代美術館が所蔵する画巻《四季山水》に注目し、完成作のほか、下絵なども展示して、制作過程を具体的に紹介します。



春の場面



夏の場面



秋の場面



冬の場面

《四季山水》は、慢性腎臓炎と網膜炎に倒れた春草が、療養の際に援助してくれた秋元洒汀^{しゃてい}（1869～1945）に感謝の意をこめて描いた画卷（絵巻物）です。長さ9メートルを超える作品で、春の丘陵、夏の水辺、秋の森林、冬の海辺と画面が移りゆき、見る人を四季の旅へといざなうように場面が展開しています。春草が研究を続けてきた「朦朧体」^{もろうたい}の終着点ともいえるべき作品となっています。春草の模写や写生、下絵などの資料は、これまで春草のご遺族が継承してこられてきましたが、今回、春草生誕150年に合わせて、一括して当館に寄贈されることになりました。これらの資料は、春草の制作の背景を探るための貴重なものです。本展では寄贈品も展示して、春草の研究の様子や制作の過程を詳しく紹介します。



菱田春草《四季山水(小下絵・部分)》 飯田市美術博物館蔵



菱田春草《四季山水(大下絵・部分)》 個人蔵(長野県立美術館寄託)



菱田春草《四季山水(完成作・部分)》 東京国立近代美術館蔵

小下絵
(こしたえ)

日本画を描く場合、スケッチを行い、描こうとするものの姿を十分に把握します。また同時にいくつかの下絵も準備します。通常は、まず小さな紙に構想を描き、どのような構図にするのか検討します。この段階の下絵を「小下絵」といいます。小下絵で構想がかたまり、完成作と同じサイズの紙に引きのびします。気に入らなければ修正を加え、納得がいくまで描き直します。この下絵を「大下絵」といいます。大下絵が完成すると、これを慎重に写し取って完成作の執筆にとりかかるとのことです。

以上が日本画における通常の方法ですが、ご遺族の証言によれば、春草は大下絵をほとんど描かなかったといえます。構想がまとまると、すぐに完成作にとりかかるといいます。春草の作品が強い緊張感をみせるのは、この制作方法のためかも知れません。そしてこの方法は未完成作品、つまり完成を断念した作品を数多く生むことになりました。未完成作品が多いのも春草の制作の特徴といえるでしょう。

《四季山水》は、春草としては珍しく小下絵と大下絵を描いている作品です。画卷という長大な構想であり、恩人の秋元洒汀に贈るための作品であったため、春草は周到な準備を重ねて制作に臨んだのです。左の図は、上から小下絵、大下絵、完成作です。いずれも秋の場面です。これら3点を比べてみると、構成はおおよそ共通しており、小下絵の段階でもう構図が固まっていたようです。ここで注目したいのが小下絵です。3枚の紙片に分かれていますが、詳しく見ると、右と左とを切り離し、その間に中央の紙片を挟み入れていることがわかります。中央の図は後に付け加えているのです。そこには牛を連れてきたきりの姿がみえます。春草は、ここに点景人物を加えることで、秋の風情を強めようとしたのでしょうか。《四季山水》は、春夏秋冬それぞれの季節の情感をあらわすことに主眼を置いていたことがうかがえます。

大下絵
(おしたえ)

菱田春草生誕150年記念特別展 「創造の道筋 - 画卷《四季山水》への歩み -」 10月5日(土)~11月4日(休)



[開館時間] 9:30~17:00(入館16:30まで) [休館日] 10月7日、15日、21日、28日
[観覧料] 一般 700円(600円)、高校生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金
[問い合わせ] 飯田市美術博物館 ☎0265(22)8118

関連企画

1 記念講演会1

「秋元洒汀と菱田春草
— 画卷《四季山水》に連なる絆について —」

[期日] 10月14日(祝) 13:30~
[講師] 塩谷 純さん(東京文化財研究所上席研究員)
[会場] 美術博物館 講堂 [定員] 60人
[受付開始] 9月27日(金)

1 記念講演会2

「春草晩年の作品—《四季山水》を中心に—」

[期日] 10月27日(日) 13:30~
[講師] 尾崎正明さん(テツ・アートプラザ館長)
[会場] 美術博物館 講堂 [定員] 60人
[受付開始] 10月11日(金)

2 美術鑑賞の会

※観覧券が必要

[期日] 10月25日(金) 18:30~
[講師] 当館学芸員
[会場] 美術博物館 展示室
[定員] 20人
[受付開始] 10月9日(水)

3 展示解説会

※観覧券が必要

[期日] 10月12日(土)、26日(土)
13:30~
[案内] 当館学芸員
[会場] 美術博物館 展示室
[定員] なし

完成作

飯田まつり第43回飯田りんごん 元気なかけ声が響く



りんごん大賞を受賞した「飯田女子高校」

8月3日に開催し、昼間の「ふれあいアップルタウン」と合わせて約2万5,000人が飯田の夏を楽しみました。

夜のりんごんには67連、約3,600人が参加し、趣向をこらしたカラフルな衣装を着た参加者が街中を彩りました。中でも、こどもたちの連は元気いっぱい。息の合った踊りと掛け声で観客を楽しませていました。

いいだ人形劇フェスタ2024 やろうよみんな



スタッフド・パペット・シアター (オランダ)《ユビュ王》



人形劇団えりっこ《ふしぎの森のヤーヤー》

日本最大の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ2024」が8月1日から4日までの4日間開催されました。

海外劇団も含むプロ、アマチュア、学生などの276劇団が参加し、飯田下伊那地域の111会場で376公演が行われました。地域外からも多くの人形劇ファンが訪れ、街中が笑顔であふれました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

腕時計の組み立て体験講座 未来のマイスターは君だ



8月5日、小学生親子が時計製造の技術者（マイスター）の指導を受けながらオリジナルの腕時計を作りました。参加した小学生は「細かい作業が多くて疲れたけど、完成してよかった」と話していました。

産学官連携国際インターンシップ タイの大学生が飯田に



市役所で行われた成果報告会（8月5日）

産学官が連携した初めての試みとして、タイのチュラロンコン大学に通う学生2人が飯田の企業で約2カ月間のインターンシップを行い、AI技術を用いた製品の画像検査方法の共同研究を行いました。

信州大学との連携強化に向けて 目的と名称を変更



7月25日に総会を開き、さまざまな研究分野で信州大学と南信州地域の連携を深めて地域振興につなげるため、名称を「南信州地域・信州大学連携推進協議会」に変更しました。

リニア関連情報発信イベント ペーパークラフト体験



8月3日・4日、りんご並木のエコハウスでリニア駅前広場の木造大屋根やリニア車両のペーパークラフトを作る体験会を行いました。リニアや駅前広場について理解を深める機会になりました。

現代版 養生訓

消化器外科
水上 佳樹 医師

免疫チェックポイント阻害剤について

皆さんは免疫という言葉聞いてどのようなイメージをお持ちになるでしょうか。

「病気から自分を守ってくれる何らかのシステム」と理解している方が多いのではないかと思います。一般的に細菌やウイルスなど人体にとって有害となりうるものが私たちの体の中に侵入してきた際、それらを排除してくれる仕組みと考えてよいと思います。

免疫システムにおいて、我々の体を守る働きを主に担っている細胞のひとつにリンパ球があります。中でもT細胞というリンパ球は、初期段階で発生した少数のがん細胞であれば、これらを異物として処理してくれていることが近年の研究で明らかになっています。

しかし、がん細胞の量がある限度を越えて増加してしまうとT細胞が処理しきれなくなり、いわゆる疾病としてのがんが発生してしまいます。その原因のひとつとして、T細胞のもつPD-1という蛋白質とがん細胞のもつPD-L1という蛋白質が結合すると、T細胞ががん細胞を攻撃できなくなってしまうということが最新

の研究でわかるようになりました。

そして、この仕組みを応用して創られた薬剤が免疫チェックポイント阻害剤です。その中のひとつである抗PD-1抗体薬は現在、実臨床においてさまざまな種類のがんに対して使用され、良好な治療成績をもたらすようになりました。これらの薬剤はT細胞のPD-1とがん細胞のPD-L1が結びつかないように（阻害）することにより、本来のT細胞の働き（がん細胞を死滅させる）が活性化する効果を有しています。

がんと診断された場合、がんの種類や病気の進み具合により治療法にはいくつかの選択肢があります。従来の手術的療法、抗がん剤などの化学療法、放射線治療は今までもこれからも有力ながんに対する治療法であることには論を俟ちませんが、それらに加え免疫学的治療もひと昔前と異なり、現在は有効な治療法のひとつであることを皆さまにお伝えできれば幸いです。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.42

伝えたいこと

市長室から

市長 佐藤 健

先日、飯田コアカレッジの皆さんにお話を
する機会があったのですが、その準備を
している際に、豊田章男さんがトヨタの技
術者に語ったこんな言葉に出会いました。

「皆さんは、自分のために、自分の技術を
磨き続けてください。トヨタの看板が無くて
も、外で勝負できるプロを目指してください。
私たちは、どこでも働ける実力を付けた皆さん
が、それでもトヨタで働きたいと心から
思っただけの環境をつくるために、努力
してまいります。他人と過去は変えられませ
んが、自分と未来は変えられます。皆さん、
一緒にトヨタの未来を創っていきましょう。」

他人と過去は変えられないが、自分と未
来は変えられる——この言葉を悩み多き

青春時代の真ただ中にいる学生の皆さん
にお伝えしたかったのが第一ですが、豊
田さんの言葉の「トヨタ」を「飯田」に置き
換えると、これも私が子どもたちに伝えたい
ことでありました。

世界のどこへ行っても活躍できる実力を
付けた皆さんが、それでもやっぱり住みたい
と思ってもらえる飯田市を創っていき
きましょう！——子どもたちに話をする際
には、一度はこの地域を離れても将来帰っ
てほしいと願ってお話しますが、それは
ここに縛り付けようということではありませ
ん。豊田さんの言葉は、まさに私の思いを
言い当ててくれたように思ったのでした。